



堀場製作所OB会

会報

通巻37号

発行日 平成27年1月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆第19期年次総会

- ・会社近況報告 石田耕三副会長
- ・年次総会
- ・懇親会

◆定例幹事会・定例会

- ・第19期第1回幹事会
- ・東京支部第19期第1回定例会

◆HOVC

- ・ボランティア部会
- ・キャリア部会

◆クラブ活動報告

- ・山遊会
- ・カメラクラブ
- ・ボウリングクラブ
- ・ゴルフクラブ

◆OB会行事報告

- ・夏の懇親会……………京都
- ・レジャー例会……………姫路

◆特別寄稿文

- ・前代表幹事を偲んで
酒井 俊英
吉井 忠彦
梶並 強平
笠川 重美

◆会員寄稿文

- ・オーロラ紀行……………村瀬 潤
- ・京都の知ってるつもり……………海野興一郎
- ・男はへそくりを作るべき……………梶並 強平
- ・ドイツ在住国外旅行……………野口 進治

◆OB会だより

- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・新入会員紹介
- ・年間行事計画について
- ・会報、ホームページへの寄稿について
- ・OB会入会手続きについて

◆ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆編集後記



【ライトアップされた赤い糸】

運命の赤い糸

富山県の富岩運河の船溜まりを整備してつくられたのが環水公園(かんすいこうえん)です。この公園の運河を結ぶ天門橋の両側には展望塔がそびえており、そこからの立山連峰の眺望は最高です。またこの両塔の3階には「運命の赤い糸」ならぬ58mの釣糸でできた「赤い糸電話」が設置されています。風の音がシューシューと入りますが、結構聞こえます。富山に行かれる時には是非試されてはいかがでしょうか？
(湯浅 一郎 記)

第19期年次総会から

会社近況報告

石田耕三副会長

2014年上期決算と今期予想、トピックスについて話をさせていただきます。

まず、上期概要ですが半導体市場の上昇をうけての売上アップと環境事業の海外の好調で前期比では増収増益となりました。特に円安での押し上げ効果は売上で35億円、営業利益で6億円となっています。上期連結での実績ですが、前年実績と比較すると、増収減益、当期純利益も僅かながら増益となりました。ただし、前回予想からは、売上が未達となりましたが、営業利益は達成できました。一方で、経常利益と当期純利益については、グループ会社での過年度の損失調整が入り少し悪化しました。

セグメント毎に見ますと、前年同期比較では売上は全部門で増収となりました。一方、利益は自動車と医用で減益、自動車については、MCTや排ガスの大口案件の下期へのズレ込み、低収益案件の出荷などにより、想定以上に悪く、営業利益の減益幅も大きく後半でのリカバリー対応が期待されます。特に半導体と環境の増益幅が大きい状況です。半導体は少しスローダウンの気配がありましたが、現在急速に市場が活況になり下期期待できる状況です。環境はPA(放射線モニタ)以後、PM2.5の問題で中国や日本での煙道排ガス分析装置の出荷増が貢献しています。

受注のトレンドですが、傾向は昨年と同様で後半型になっています。1Qでは自動車の受注が伸びず心配していましたが、2Qには大口も含めて139億円まで積み上がりました。受注残も過去最高の水準に達しています。

通期での連結損益の予想です。今期目標、1500億円の売上は前回予想から変更しておりません。また、営業利益も目標の140億円、上期で営業外損失や特別損失・利益が発生しましたが、当期純利益90億円と見込んでいます。セグメント別の予想ですが、まず、自動車は受注計上も上向いてきており、ようやく旺盛な引き合いが数字になりつつあります。このような足元の状況から、上方修



正をしています。環境は、PAの売上がほとんどゼロになりましたが、この上期、過去最高の業績となりました。中国や日本での煙道排ガス装置、APの出荷が伸びていることが背景にあります。上期の好調さを反映し、こちらも上方修正をしました。一方で、医用は下方修正をすることになりました。セグメントのところで改めて説明しますが、新製品開発の遅れやFDAの認証の遅延などに対して、様々な手は打っているものの、今期業績に直接上積みできるものは少ない状況にあります。

下期についてセグメント別の業績予想について状況を報告します。自動車では、上期は想定に対して未達に終わったものの、受注の取り込みや自動車産業の投資動向などから、通期計画は大幅上積みということで、下期集中となります。結果的に下期の特にこれからの4Qの生産・売上がかつてない高い水準になっています。これによって下期46億円の利益を達成する見込みです。半導体では昨年比この時の予測では少しスローダウンと見込まれていましたが9月ごろからは注文も回復してきており、期末に向けて最高の売上を期待しています。

このような状況の中で、2014年の通期予想については、当初予想、5月9日時点と今回の中間発表では据え置いております。

セグメント別状況について詳細を説明します。

エンジン排ガスATS分野での排ガス計測装置では、国内が消費税増税の関係もあって1Qにボリュームが大きく、その反動で2Qは一時的に出荷減少が顕著でした。一方、自動車計測機器事業MCTは、出荷が下期にズレ込んだ案件もあり、売上額が少ない状況となりました。さらに、トップカスタマーに対して戦略的に受注を行った大口案件の出荷もあり、収益性の面では厳しい出だしとなりました。ドライブレコーダー等ITS事業は、引き続きクラウド型新運行管理システムの充実のため、ソフトウェア面での開発投資が継続しており、売上レベルもまだ波に乗っていない状況です。来期にかけて確実なビジネス展開を目指しています。

通期予想では、需要は欧州・アジア・日本を中心に引き続き増えてきています。上期は、案件の下期へのずれこみや不採算案件など厳しい面も多くありました。下期は一気に局面を変えるタイミングにきています。MEXA-ONEの生産性も徐々に上がってきており、下期、特に4Q過去最大の出荷予定数を見据え、すでに生産対応を加速しています。2013年売上を2009年と比較した、各地域におけるHORIBAの自動車ビジネスの成長率を示しています。日本、欧米においても投資回復基調は継続し、中国や東南アジアにおいても高成長は今後も維持していくと考えられ、また、選挙後のインドも投資は回復してくると期待しています。主要自動車メーカーも、これらの成長市場において開発投資を継続していくと考えられます。OEMはもちろんTier1(一次サプライヤ)のユーザー、ボッシュやデンソーなどの次世代ハイブリッドや燃料電池でのイニシアティブをとるための大型投資が期待できます。HORIBAは、これら世界の投資の動きにしっかりとこたえていくため、グローバルレベルで、開発、生産拠点、試験設備を保有しており、各国拠点に対して継続的に投資をしています。

HORIBAは2012年には、MCT事業のシャシダイナモ、いわゆる車体試験装置の生産効率化のため、チェコに生産拠点を建設しました。また、駆動系試験設備の強化のため、上海に新たに試験設備を建設するとともに、京都本社の施設にも同様の設備を導入しています。2014年には、滋賀県大津市

での生産開発拠点のE-HARBORの建設、米国の排ガス・MCT生産工場の拡張開始、ドイツの試験設備の刷新、上海でのエンジンラボやドライブライン試験装置の設置など、積極的に投資を行っています。ドイツ・フランクフルト郊外の拠点で拡張が完成した試験センターです。MEXA-ONEを導入した世界で最も新しい実験設備です。キーカスタマーに対して直接プレゼンテーションをできる設備として、MEXA-ONEへの更新需要の掘り起こしと、新規投資ニーズの掘り起こしを加速させます。グラフは、今年のMEXA-ONEと先代モデルであるMEXA-7000シリーズの出荷状況です。本年度は当初より新製品であるMEXA-ONE比率を半分以上に上げていきたいと予定しておりましたが、現在のところほぼ想定どおり、約半数を新製品に置き換えていけると考えています。

医用は、引き続きチャレンジが続いています。医用事業は、欧米の比率が大きいため、円安により比較的売上は積みあがりましたが、北米での事業改革は引き続き途上であり、収益は少し厳しい状況となりました。日本においては、消費税増税の駆込みとその反動減で、お客様サイドでの在庫調整が行われましたが、結果として大きなインパクトにはなりません。下期にかけては、中国や、インドで予定していた大口案件の遅延の可能性が高まっており、当初予想より出荷が下振れる見込みです。今回、医用事業は下方修正をさせていただきました。中長期経営計画では中心事業・投資事業と掲げ、様々な投資を行ってききましたが、中長期経営計画で掲げている60億円の営業利益や17%という営業利益率をめざすため、今一度の加速をします。欧州での課題は、魅力ある新製品を市場に送り出す力です。この2年間でマネジメントと社内体制を刷新し、今年度末に完成する新しい開発センターにおいて、この最大の課題に立ち向かっています。アメリカは、販売体制を刷新し、新しく完成した社屋にもより効率的なデモンストラクションエリアを設けました。製品力という点でビハインドがある状態ですが、徐々に販売台数を伸ばしています。アジアは、専用品を投入した中国市場と、大口案件を想定していたインドにおいて、少し出荷が下振れる想定です。

需要そのものは増えてきていますし、まだまだ拡大市場です。これらの市場に特化した製品のリリースを早めるとともに人材の強化を図ってアジア市場でのプレゼンス向上を狙います。日本は、フクダ電子様との関係をより強化して販売を進めるとともに、病院向けの直販ルートの整備も進めます。次年度には戦略的な新製品も予定しており、成長を加速させます。

半導体ですが、昨年の1Qは、まだ需要が立ち上がる前でしたので、昨年比較では今年の1Qは大幅増収となりました。一方、この時点での予測では2Qでは徐々にスローダウンと見ていましたが、先ほど述べましたように、ここにきて太陽電池向けやLED向けでも、ようやく日が差してきた印象で、3Q以降、徐々に需要は盛り上がって来ました。マスのフローの計画としても、当初予想を据え置いています。現状の市場の動きから、特に、台湾や韓国メーカーの投資に対応し、3Q以降に盛り上がりが出てくると予想しており、生産も忙しくなっています。LED向けなども、装置メーカーでの在庫がようやくはけてきた状態で、以前よりはまとまったボリュームとなってきているのがグッドニュースです。結果、この上期のマスのフローのシェアは52%となり過去最高を記録しました。

科学は、特にこの上期も厳しい状態が続いています。2Qは、最後になんとか盛り返してブレークイーンには持ち込めたものの、各地で出荷は低調となりました。ただ、足元の引き合いは徐々に増えてきている地域もあり、下期の利益計画達成に向けて受注取り込みに全力を尽くしたいと思います。この分野は、今まで、品質検査や材料解析分野で強みを発揮してきましたが、今後はライフサイエンス分野、特に、エネルギー関連、自動車、バイオ、創薬などの分野に、お客様と密着したプロジェクトに取り組みHORIBA独自の特徴を出せるビジネスを成長させていきたいと思っています。また、今年の2月に買収したカナダのフォトン社の事業に関してはHORIBAグループ会社のジョバ



ンイボン社が持つ蛍光分光分析技術を補完するミドルエンドマーケットならびにバイオ関連や創薬分野でのシェアアップ、販売増に期待を寄せています。今回、旧分析展、JASIS2014において、これら科学分野の展示会に出展しました。

環境は、この上期、非常に伸びた事業となりました。特に、日本と中国での煙道排ガス、また欧州、インドなどでのAPのビジネスが全体を下支えをするまでになりました。日本では、火力発電所の稼働増に合わせて、一昨年からの煙道排ガスの売上は堅調が続いています。今年に入り、ようやく中国でもこのビジネスが伸びてきました。環境問題の深刻化により、ようやく中国政府の監視体制が強化されていまして、HORIBAが提供するハイエンドの煙道排ガス分析装置の需要が拡大しています。2002年に設立した上海工場の稼働は最高の状態にあり、月間の生産台数は昨年比で4倍に膨らんで、累積2000台、現地化したENDAで1000台の出荷台数となりました。年間でも国内を大幅に越しました。日本と同じ水準の品質レベルで製品供給ができており、この先も成長が期待できると見込んでいます。

経営としてのトピックスですが、まずは、アメリカでの投資についてですが、HORIBAは、1973年にカリフォルニアに拠点を設立して以来、昨年で40周年を迎えました。

今回、2か所に別れていた拠点を1か所に集約し、アメリカのヘッドクォーターとしての機能を強化するとともに、医用のショールームの強化なども行い、ビジネスのサポートも充実させることになりました。また、ミシガン、アナーバーでは、自動車セグメントの生産拠点として、排ガスとMCT事業をそれぞれ強化します。この拠点からは、米国のみならず、南米向けの製品も担当し、需要が拡大するこれらの地域へのサポート力を強化する狙いもあります。

南米に渡ってブラジルですが、ワールドカップが開催された時期と合わせて、医用ビジネスの収益源となる新しい試薬工場を稼働させました。これにより試薬の生産能力は4倍となり、フランスに次ぐ南米の試薬供給拠点となりました。また、自動車関連での拠点整備も進めてきました。一方、日本での投資も加速させています。現在の中長期経営計画を発表してから3年は、主に海外での投資を充実させてきましたが、この先は日本国内への投資・再整備に重点を置きます。今年2月の本決算時に発表したHORIBA BIWAKO E-HARBORをはじめ、半導体・医用の拠点拡充を進めています。この先には、特にE-HARBORに自動車・環境事業が移った後の現本社地域では、さらにものづくりの力を活かせるよう、再整備を進めていく予定です。

グローバルオペレーションの拡大が続く中、投資家への配慮として、一昨年に配当ルールの変更を行いました。単体純利益ベースでの30%の配当性向あったところを連結の純利益ベースでの30%配当に変更しました。今年の配当予想は、当期利益予想の90億円をベースに、その30%である64円を予

定しています。中間配当については、25円をすでに実施させていただきました。過去の連結純利益の実績と配当金の実績をみると、2003年度からの11年間で、総還元性向を計算すると20.8%となります。この比率を連結利益で30%に上げていくことになり、株主の皆様へは、単体ベースの配当から、おおよそ4割ほど還元を増やす計算になります。今後も、連結業績に連動した利益還元を実施して行く方針です。

2015年を目標年度とした中長期経営計画は、残すところあと1年半となりました。今年は、売上高は1年前倒しで達成する予定ですが、利益については最終年度目標からは50億円のギャップがある状態です。基幹システムへの投資や国内外の大型投資によって収益環境には厳しいものがありますが、何とか目標に限りなく近づく様努力したいと思います。セグメント別の売上と利益に分けたもので、計画初年度の2011年から目標年度の2015年までの実績・計画を並べました。特に自動車は、売上はすでに2013年度に達成、2014年度に利益も1年前倒しで達成します。今後もグループ一丸となって計画達成に向けて全力を尽くしてまいります。

(抄録)



年次総会

2014年第19期総会は10月14日（火）に開催されました。折からの台風が、日本列島を縦断し、関西から関東に向けて移動する事が予報されていて、如何なる事になるかと気を揉むことになりました。幸い、段々移動速度が早くなり、14日の朝には太平洋に抜けて殆どの交通機関が普通に運行する状況になり、安堵した次第でした。

今回は、第18期中にお亡くなりになった松本勲氏、岩田 市利氏の御冥福をお祈りした後、石田副会長の会社近況報告から始まり、その後の総会で、第18期の活動報告、及び会計報告、第19期の計画案・予算案を説明し、承認を頂くことが出来ました。その後、懇親会となって、堀場社長が、登場され、重篤な御挨拶を頂き、元気なお姿を拝見して、乾杯の音頭も執って頂き、楽しみにしていた交流が行われ、日頃の多くの会員の様子をお伺いし、旧交を温める事が出来ました。以下に、各報告の要旨を紹介します。

1. 第18期活動報告

☆活動の重点（酒井 代表幹事）

- * ボランティア活動の枠を広げる事に注力しました。

京都マラソン・ボランティア活動への参加

2014年2月16日(日)

桂川クリーン大作戦への参加

2014年2月23日(日)

- * 小学生モノづくり教室への内容向上
環境教育の為に2点表示式温度計の質の向上
年間参加回数増による教育長からの表彰

- * 費用支出の見直し
会員の活動に対する実質支援向上
各行事に対する参加会員の増加に注力

☆クラブ活動報告（中村（正）クラブ活動統括担当幹事）

山遊会、釣り、カメラ、グランドゴルフ、囲碁、京都ゴルフの各クラブの活動について、写真と共に報告された。

☆東京支部活動報告（谷口 東京支部幹事）

支部会員数14名（北村氏、入会は海野氏、京都へ

移住により、合計人数は変わり無し）

活動内容について

定例会の年4回の開催、一泊旅行、会社幹部との懇談会（JASIS2014展と同期）、東京支部ゴルフクラブの活動、その他支部幹事会の開催等の内容について報告された。上記、クラブ活動報告、東京支部報告は、今回が初めてであり、東京支部の活動については京都地域の会員には、新鮮で、好評であった。

2. 第18期会計報告（詳細は省略）

湯浅 会計監査役より、監査結果について、問題が無かった事が報告されました。

3. 第19期活動計画案

☆運営方針：キャリアを活かして社会貢献を強化

☆主なOB会活動

- * 懇親会・・・・・・・・・・従来通り、年2回
- * 教養レジャー例会・・・・・・・・従来通り、研修旅行も含め、年2～3回
- * キャリア部会、ボランティア部会は、H O V C (HORIBA OB Volunteer & Career) 部会として一体化する。この名称はK S V U (京都シニア・ベンチャークラブ連合会) のH O V C (HORIBA OB Venture Club) と一体のものとする。生き方探求館の工作授業の新テーマの開発を目指す。

☆クラブ活動について

18期に活動できていないクラブについて

グランドゴルフクラブ・・・・・・・・今年度は積極的活動を目指す。

京都ゴルフクラブ・・・・・・・・年2回、秋と春に開催を目指す。

11月28日（金）第1回 開催を予定（KSVUと合同）

新クラブ創設

ボーリングクラブを設立する。

部長は毛利さん。

毎月第1土曜日 10時30分 練習開始、

11時00分 試合開始

12時15分 表彰式・懇親会

第1回は11月1日（土）開催

☆ホームページの運用

コンテンツは幹事会が管理、編集作業は専門業者に委託（㈱ゴビ）

URLは<http://www.horiba-ob.com>

☆新たな活動

京都ニュートロニクス（福島SiC応用技研；最高顧問出資会社）への支援活動

営業・サービス等、についてOB会が教育指導面で支援する。（福島県いわき市）

☆第19期予算計画案（詳細は省略）

会員数・幹事体制

会員数 平成26年9月20日現在 186名

幹事体制

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事 笠川 重美（会計）、中村 十規人、中村 正博、森山 晶成、谷口 義晴（東京支部）

新任幹事 三橋 泰夫、伊藤 哲（副会計）

会計監査 湯浅 一郎、中井 眞啓（堀場製作所）

以上の第19期の活動計画・予算計画・幹事体制について、承認を受けた。

以上



【酒井代表幹事】



【谷口さんによる東京支部報告】



【堀場最高顧問の卒寿お祝い】

定例幹事会

第19期 第1回幹事会

堀場製作所OB会第19期 第1回定例幹事会は2014年11月12日午後2時より、堀場製作所1号館OB会室で行われました。以下その議事録の要約です。

第19期 総会の総括

○良かった点：

- ①写真による説明等よかった。
- ②50名程度の参加でよかった。
- ③東京支部の報告がよかった。
- ④新旧参加者の入れ替わりがあった。
- ⑤懇親会の社長の席を真中にしたのはよかった。

●悪かった点：

- ①時間が長い。
- ②懇親会での会社からの参加者が少なかった。
- ③古稀お祝いの渡し方全員読み上げる。
- ④年間予定配付が必要（総会前に決定）。

会員情報の問題点

エクセルデータで確定させる。HPの掲載はやめる。OB会室のPCの情報が基本。

3. 年間スケジュールの検討

幹事会9/4→9/11 東京支部 10/7支部幹事会実施済み他原案通り了承された。

4. 幹事の役割分担 酒井は総括

- ①クラブ活動総括：中村（正）（企画担当）、森山（事務処理担当）

- ②レジャー・研修旅行：中村（正）（企画担当）、森山（事務処理担当）

- ③HOVC： 森山、中村（十）

- ④会報編集： 伊藤、湯浅、中村（十）

- ⑤ホームページ： 酒井、伊藤

- ⑥会社連絡会： 酒井、船越

- ⑦KSVU幹事：

来期から理事：（検討中）、幹事：酒井

5. 東京支部とのTV会議の可能性検討

TV会議はしない。総会は引き続き検討する。

6. OB会議室の整備

7. ホームページの改良、更新

- ①結果報告だけでなく、事前のお知らせを掲載するようにした。

- ②ボランティアとキャリアはHOVCとして、第1ページでは1つにした。

- ③パスワードは問題有。会報誌のアクセスについてパスワードは要らなくする。

- ④幹事連絡も止める。（メールで連絡する）

- ⑤会員情報は掲載しない（現状のセキュリティに問題あり）との指摘を受けた。その他、順次、整理改訂していく。（酒井 俊英 記）

東京支部 第19期第1回定例会

東京支部は2014年12月19日（金）東京支店会議室にて11名の出席で19期第1回の定例会を開催した。佐藤常務より会社の近況と熊本、琵琶湖工場の状況を説明していただきました。谷口幹事より10月の総会において東京支部の18期の活動報告を初めて行い、成果として活動内容、活動回数、出席人数等に対して皆さんから評価をいただいた。11月の幹事会の報告を行い、総会のテレビ会議の接続について検討されたが、事前に支部会員のご意見をまとめた結果を説明、総会は出席して顔を合わせて話をするのが目的で、テレビ会議は一方的な印象と報告した、新会社福島SiC応用技研に対し支部OB会に人的派遣の要請があり今後フォローして行く。5月の一泊旅行について前回希望の多

かった石和温泉に対して調査したが、観光場所が少ないと検討したが、近くに武田神社の他博物館、美術館等があるとの意見で石和温泉で進めることにした。ゴルフは春日居ゴルフ倶楽部。支部幹事会で内容をまとめ3月の定例会で提案する事にした。会議終了後そば処「大新」で懇親会（忘年会）を行い色々な話題が飛びかい解散となった。

（谷口 義晴 記）



HOVCーボランティア

鴨川茶店に参加して

2014年も4月12日（土）、4月13日（日）に、鴨川を美しくする会・京都鴨川ライオンズクラブ主催で、鴨川茶店が開催されました。会場は植物園西側、北山通りと北大路通り間の「半木(なからぎ)



の道」で行われました。出店、尺八や琴の演奏会、騎馬隊、吹奏楽、地域の物産展、鴨川に関する学習会が行われました。堀場OB会では南側の進入口付近の交通整理、来場者の道案内を実施しました。今年は紅しだれ桜が満開で絶好のタイミングで行われました。来場者は南側入り口付近にある、モニュメントとしだれ桜のコラボなどの撮影スポットなど楽しんでおられました。

天気に恵まれ、多くの人出があり、心地よいひと時を過ごしました。（三橋 泰夫 記）

■協力者（敬称略）

- ・4月13日：船越 健、中村 十規人、三橋 泰夫
- ・4月14日：石黒 英憲、中村 正博、酒井 俊英

鴨川源流域清掃活動

2014年12月7日、上記鴨川源流域河床清掃に堀場OB会から、酒井俊英さん・中村正博さん・森山晶成さんと秋山の4名が参加した。北山駅・府立総合資料館東に集合後、ジャンボタクシーに分乗し、初冬の洛北街道を北上し、約20分かけて雲ヶ畑入口の実施本部がある「木場」に到着した。

杉江事務局長から、当日の清掃活動グループの作業分担、安全注意や作業要領の説明を受けた。我々は、第3グループで、実地本部～「山幸橋」（約2km下流）間の道路周辺・側溝の清掃と「山幸橋」直後の河川屈曲部付近の河床清掃を担当した。先の台風による増水で土砂が洗われたせいかわ、半ば土砂に埋もれている状態で、細長い形状の廃棄物を散見した。多くは家電廃材や産業廃棄物と思われる。とてもゴミハサミでは手に負えない難物ゴミが多く、両手で目いっぱい引っ張り上げるしかなかった。久しぶりの大型ゴミの回収作業で、すっかり心地よい汗かきを楽しんだ。

このような山奥での不心得者の不法投棄は一瞬ですが、産廃他廃棄物の回収除去及び原状復帰には半世紀もかかることが身をもって体験した。今回は、京都市民ボランティアとこれをサポートするスタッフチーム（協力・協賛組織）による“鴨川源流域クリーン大作戦”でした。帰りは、北山駅周辺の喫茶店で反省会の後、解散しました。

（秋山 重之 記）



生き方探究館・ものづくり工作授業

6月18, 20, 25日京都府庁前にある「京都まなびの街 生き方探究館」での「ものづくり工作授業」も、はや7年目となりました。現在、受け持つ工作授業は、その名も「世界で一つだけの温度計」です。4年目となる2014年も【資材部、生産技術部、電気設計部】のホリバリアンの皆さんに協力して頂きました。掘場OB会からは、ボランティア12名（モノレンジャー）の協力を得て、さらにパワーアップし、今年度の授業を6月よりスタートした。昨年の温度計に機能を追加した事で実用性が増したほかより一層温度を“はかる”面白さを感じるように工夫をこらし、エコにも対応出来るように「2点を改善」しました。

★温度表示のLEDを2点から3点に変更（18℃以下・19～27℃・28℃以上）

★温度センサーを防水加工し、液体の温度測定も可能に変更しました。

6月実施授業264名

◆1日目：6月18日 仁和小学校4年生70名

担当：中村(正)、三橋、秋山、島田、森山、霞上さん（コーポレートコミュニケーション室:CCO）の参加です。

A班34名、B班35名に分かれて、工房学習を霞上さんの挨拶でスタートしました。「はかる」と「わかる」をテーマにセンサーの仕組み等の説明をして温度計の工作授業に入りました。

【温度計】キット部品の説明をしながら組立てを進めました。小学生たちは温度が測れることがわかると段々と騒がしくなります。基板上の電源「スイッチ」を押して「LED 黄色が点灯」すれば完成です。その後、隣の実験室へと進み、準備した保冷剤、ドライヤー、ポイントクーラー、水道水を温度計で測りました。子供たちの表情は楽しさ一杯にあふれていました。

◆2日目：6月20日 南太秦小学校4年生70名

この日は、他社のモノレンジャーの4名が応援してくれました。森山、霞上さんの2名の参加です。早めに家を出て探究館に着きました。他社のモノ

レンジャー4名方とお会いしていなかったので緊張気味でしたが時間前に他社のモノレンジャー4名の方と顔を会わせて安心しました。他社のモノレンジャーの方が前もってトレーに温度計キット、工具等を並べて準備して頂きました。手伝っていただきさらに安心しました。今回の工房学習は初めてでコラボレーションのいい勉強になりました。終了後に控え室で今回の工房学習での評価を、他社のモノレンジャーにして頂き、学習内容が分かり易くて、勉強になったと良い評価を頂きました。・・・霞上さんに対する評価が非常に良くて、安心しました。

◆3日目（午前）：6月25日大原野小学校6年生39名

担当は中村(正)、秋山、島田、森山です。

この日の「ものづくり工作授業」は午前、午後のダブルヘッダーでした。午前中の授業は6年生と言う事で少し緊張しました。挨拶からスタートして「はかる」と「わかる」をテーマからセンサーの仕組み等の説明をして、温度計の工作授業に入りました。

【温度計】18日と同様にキット部品の説明をしながら組立てを進めていき小学生たちは温度が測れることが解けると段々と騒がしくなります。基板上の電源「スイッチ」を押して「LED 黄色が点灯」すれば完成です。その後、隣の実験室へと進み、準備した保冷剤、ドライヤー、ポイントクーラー、水道水を温度計で測りました。



☆堀場製作所に将来に入りたいですかという問いかけに3名手をあげてくれました。感激です。

6月25日（午後）桃山小学校 4年生85名

担当は川越、三橋、秋山、島田、森山です。

桃山小学校4年生85名の皆さんにご挨拶しました。

「元気ですか」の挨拶に1回目はやや声が小さいので再度、「元気ですか」と声をかけ、今度は皆さんが声を揃えて大きな声で挨拶をしてくれて授

業に弾みがつき順調に進みました。内容としては生徒数が多かったのも、モノレンジャーや先生方も若干、疲労気味かなと思いましたが授業の最後に嬉しい感想を頂き疲れも吹っ飛びました。

小学生の皆さんに今日の工房学習の感想を頂きました。全員手を上げて「楽しかった」との声を頂き安心しました。

（森山 昌成 記）

京モノレンジャー感謝状贈呈式



2015年2月3日に、京都市役所内、教育委員室で生田義久教育長より、KSVUの京モノレンジャーに対し感謝状の贈呈式が行われました。

平成26年度の「京都ものづくりの殿堂・工房学習」でのボランティア活動

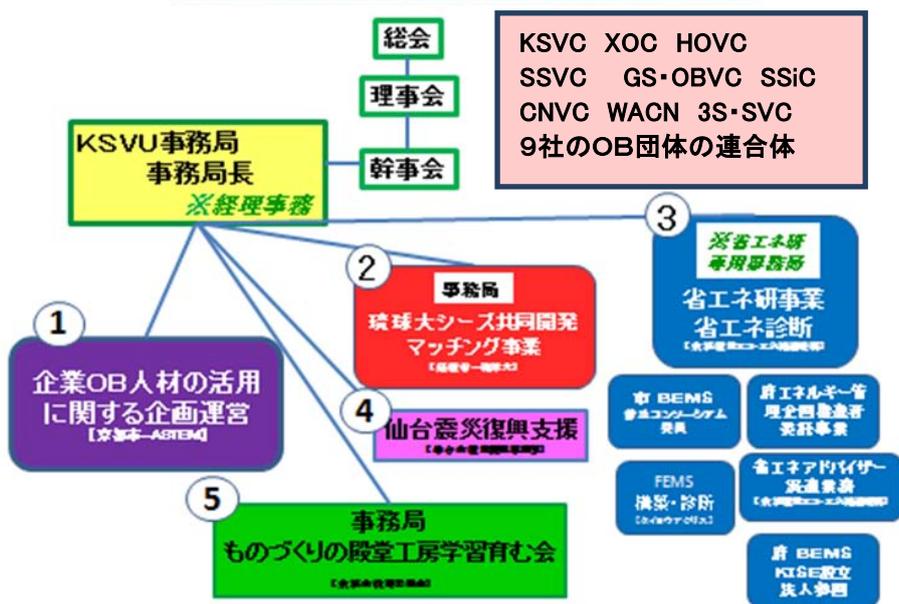
に対し、他社を含め15名のモノづくり学習支援要員・京モノレンジャーが受賞されました。

堀場OB会からは、私と萩原さんでした。ボランティア登録時から1年以上かつ通算10回以上の活動をした者というのが受賞基準です。堀場OB会では「キャリアを生かして社会貢献を」、という方針で「京都まなびの街生き方探究館」に参加していますので、今後とも継続していく予定です。

（三橋 泰夫 記）



KSVU事務局体制と 26年度 事業



①OB人材の登録件数68名

26年度1月現在 企業マッチング件数28件

②琉球大シーズ40件 企業との共同開発マッチング事業・共同開発企業と面談中

③省エネ診断事業 目標30件 省エネ診断は終了報告書・事例集を作成中

④札幌・さいたま・川崎・名古屋・京都・堺・神戸・北九州が相互連携し仙台企業を支援

⑤京モノレンジャー108名が殿堂・工房学習の支援 本年、143小学校8,662名の児童が参加

堀場は『世界に一つの温度計』作りを指導

山 遊 会

—第36回 例会山行報告—

近鉄京都駅に午前7時30分に集合し、7時41分発 橿原神宮前行き急行に乗り、大和八木駅で大阪線 宇治山田行き急行に乗り換え、9時22分名張駅下車。三重交通バス9時35分発曾爾高原行きに乗るべく大勢の列の後ろにつく。シーズン中の土日のみ曾爾高原まで延長運行されている。臨時便も出るようだが、立ちんぼ承知でとりあえず乗り込む。バスを下りて10時20分出発。青少年自然の家への遊歩道を歩き、草原状の穏やかな山容が広がる曾爾高原にでる。ここからお亀池を右手眼下に亀山峠まで登る。10時53分着、峠からは屏風岩、兜岳、鎧岳の山々が、快晴の陽のもとに展望できる。本来なら眼前は一面見事なススキの原と称したいところだが、どうしたことかお亀池を取り巻く斜面一帯のススキが根元から刈り取られ、道端のところどころに少しあるだけ。気を取り直して小休止ののち出発、露岩交じりの尾根を登り、11時30分二本ボソ手前の監視所で入山料一人500円也を払い倶留尊山へと向かう。二本ボソから倶留尊山の尖峰は目の前である。右手前方は尼ガ岳（伊賀富士）、大洞山の眺めが素晴らしい。一旦急坂をケヤキ谷のコルまで標高80mほど下り、ロープ伝いに120mほど登り返して12時5分山頂に到着。恒例の記念撮影をすませ昼食とする。

12時40分下山開始、二本ボソまで来た道を慎重に返し、13時35分亀山峠まで戻ってきた。

ここでお亀池と少しのススキを背景に2枚目の記念撮影。そのままバス停に行けば予定より1本早い14時27分発に乗るにも少し余裕がありそう。そこで予定通り亀山に登る組とバス停に直行する組に分かれることにする。15分ほど登って亀山へ、ここからの下り道左手斜面一帯は、一面のススキが手付かずで広がっており古光山を遠景にカメラに納める。高原入口まで下ったところでバスの時間が気掛かりとなり、急ぎ足でバス停に向かいどうか発車5分前に間に合い、おまけに1台増車があり全員座れる幸運を得た。名張駅から15時27分発の上本町行き急行に乗り、大和八木駅で急行に乗り換え、明るいうちに京都に帰ることができた。

(下川 博司 記)



一第37回 例会山行報告一

年月日：平成26年11月21日（金）快晴

行先：能勢妙見山（660.1m）

11月1日に予定していた皆子山が雨で中止となり、能勢妙見山を第37回例会に繰り上げとした。阪急河原町駅に午前7時40分集合し、7時54分発の通勤特急に乗り込み、十三駅で乗り換え川西能勢口駅で能勢電鉄に乗り換え、山下駅で三度乗り換えて、9時41分妙見口駅に着いた。駅前前で案内板を見ていたところ、尾根コースを紅葉を愛でながら下るのがお勧めとのアドバイスを得て、予定を変更して時計回りに新滝道を登ることとする。9時50分出発「花折街道」と標識のある道をケーブル黒川駅に向けてなだらかな登り道に行く。程なくして前から来た車を避けようと道の脇によけた折、倉原さんが舗装の剥がれた凹みに足を取られ足首を痛めるアクシデントがあり、リタイヤを余儀なくされる。10時10分ケーブル黒川駅の右側から新滝道の登りとなる。川沿いの道を登り11時20分妙見山上バス停に出た。石の鳥居と紅葉をバックに記念写真を撮り境内に入る。三角点への標識をみて右に折れ11時35分山頂着、記念撮影を済ませ本殿に参拝。日蓮宗の西の総本山で



【妙見宮鳥居前】

諸堂が立ち並ぶ中、山頂を巻くように参道を辿りバス停に戻ってきた。広い駐車場横に小高い丘があり（稲荷山）草原に陣取り昼食場所とする。雲一つない快晴で、風もなくうらかな時が流れる。12時40分出発、駐車場奥に展望コースの取り付きがあり、整備された尾根筋を下る。13時20分八丁茶屋跡を過ぎベンチのある展望所に出た。遠くに大阪市街と大阪湾を、その右側には六甲の山並みが続く。小休止して妙見ケーブル・リフトが架かる尾根の南斜面の紅葉を眺めながら13時40分上杉尾根登山口に降り立った。朝歩いた道を妙見口駅まで戻り、14時14分発の川西能勢口駅行に乗り、予定より早く帰路に着いた。

（下川 博司 記）

カメラクラブ

カメラクラブは、5名から12名となりました。これも川越さんのお力と思っています。これからもカメラクラブの活動を続けていきますので、沢山参加をお願い致します。最近ではデジタルカメラの性能が向上しただけでなく、スマートフォンなどカメラ機能の性能向上には、ビックリしていま

す。カメラでの写真撮影だけでなく、みなさんの写真を披露する場所として、カメラクラブに入っていただきますようお願いいたします。昨年のOB会総会において、展示させていただいた、カメラクラブ員の写真をこの会報誌掲載させていただきます。（笠川 重美 記）



【一葉の侘び 川越 幹】



【水面に映える 山田 昌美】



【荒波!! 笠川 重美】



【トロントの秋 一木 武俊】



【太閤が偲ばれる 西尾 勝治】



【朝霧の三本松 萩原 孝一】

ボウリングクラブ

ボウリングのお勧め

ボウリング同好会世話役 毛利隆文
2014年11月からOB会でボウリング同好会が発足しました。永田真寿夫さん・田中光子さんと共に世話役を務めています。毎月定例で第1土曜日の午前10時30分から「ラウンドワン河原町店」で開催しています。3ゲームのハンデ戦の月例会です。投げ終われば、近くのビアレストランで懇親会です。費用は全て込みで5000円程度です。いつでもどなたでも参加できます。予約無し当日参加でもOkですが、できれば世話役までご連絡下さい。

E-mail:mouri@stage-kyoto.com 携帯：090-3998-9933
ボウリングと言えば、OB会の皆さんもあのボウリングブームの頃をよく憶えておられると思います。私が入社した昭和46年はその真っ只中で、会社の創立記念日は全社大会で、堀場雅夫社長（現最高顧問）が金色のボールで始球式をされていたことを思い出します。OB会の皆さんは全員ボウリング経験があるということです。マイボール・マイシューズでHORIBAユニフォームを着て活躍されていた方も大勢おられるはず。私がお誘いするともう何十年もやってないからと尻込みされますが、水泳や自転車と同じで身体が覚えていて、近頃の若者よ

り圧倒的に上手です。マイボール・マイシューズのお勧めです。昔持っておられた方でも、今さら要らない、ハウスボールで十分だと言う方も多いことは確かです。昔のボールとは全く違うボールになっています。材質が変わり、バランスが非対称となり、さらに指グリップも付けると、ボールは普通に投げても自然にフックボールになり、ピンが良く飛びます。結果、スコアは大幅に上昇します。若い頃にマイボールで一生懸命投げてもアベ150点足らずでしたが、7年前に再開して66歳でアベ180点前後です。週に2回ほど毎回6ゲーム投げていますが、これも手にフィットしたボールのお陰です。それに左足は滑る、右足は蹴るマイシューズも必要です。ハウスシューズは両方滑るのでスリッパで投げるのと同じです。ボールとシューズにバッグを付けて約2万円、ゴルフ2回分です。ボウリングは、天候に左右されず、短い時間で安い費用（平日昼間3ゲーム1000円）で楽しめる生涯スポーツです。ぜひ、マイボール・マイシューズでのボウリングをお勧めします。では、毎月第1土曜日の月例会でお待ちしています。



ゴルフクラブ

平成26年11月28日（金）に名神竜王カントリー倶楽部にて、第1回堀場OB会ゴルフクラブ部コンペをKSUVの有志の方々と合同で開催しました。12月目前というのに、セーターを着ると汗ばむほどの穏やかな良い天候に恵まれプレーを開始。総勢20名がグリーンのすごいアンジュレーションに四苦八苦しなながら、栄えある優勝は宇野久仁男さんの頭上に輝きました。表彰式、パーティはゴルフ場のレストランで行い、けがもなく無事全員ホールアウトできました。次回も多くの参加をお待ちしています。（ゴルフクラブ部長 三好 則夫記）

参加者：（敬称略、組合せ順）

高橋 義治、中村 十規人、中村 正博、
山田 毅、三好則夫、衣斐 寛之、
小島 健之助、秋山 重之、酒井 俊英、

	氏名	GROSS	NET
優勝	宇野 久仁男	82	73.6
準優勝	永井 博	91	76.6
第3位	小島 健之助	113	77.0



OB会行事報告

夏の懇親会

OB会恒例の夏の懇親会が8月30日（土）18時より開催されました。今回の会場は、京都駅近くの京都タワーホテル8階桜寿の間です。参加者は、新しく会員になられた4名を含め総勢42名で例年より多い参加者となりました。また、今回の参加者には久々に来られた方も数名おられ、大変懐かしく思いました。最初に酒井代表幹事の挨拶があり、その後、吉井さんによる乾杯の音頭で杯をあげ、山

下管理本部副本部長より堀場グループの近況報告が有りました。堀場グループの業績や各セグメントの利益等について説明があり、各セグメントがそれぞれにガンバッテおられ頼もしく感じたところでした。

今回の宴会場は、テーブル席で足や腰が痛くなることもなく、会話に集中できたこともあるのか、各自の近況や懐かしい思い出話で各テーブル

とも大いに盛り上がり、あっという間にお開きの時間となりました。OB会副代表幹事の船越さんと船越さんから指名を受けた土肥さんの軽妙な挨拶と一本締めで楽しかったOB会夏の懇親会も終わり

ました。懇親会を終わった後は、カラオケに行かれた方、ネオンの街に消えられた方、お家に直帰された方等いろいろだったと思いますが、楽しいひと時となりました。 (中村 十規人 記)



OB会レジャー例会 姫路城

2014年秋のOB会レジャー例会が、2014年11月14日（金）に開催されました。行先は姫路城でした。姫路駅10:40集合、姫路城を見学した後、昼食をとりました。姫路城のあたりは紅葉が始まりかけ、といった状況でした。黒田官兵衛ブームもあり、平日にもかかわらず、多くの観光客であふれかえっていました。3大名城である姫路城は名の通り全体が白い漆喰でおおわれており、白鷺城という名にふさわしい美しい城でした。姫路城は現在改修工事の最終段階で、クレーンが一部を残しほぼ撤去された状態でした。天守閣は現在仕上げ段階で入れず、公開は2015年3月26日の予定です。しかし天守閣以外でも見どころが満載でした。シルバーガイドさんをつけ1時間40分コースの案内をしてもらいました。パンフレットに出てこない隠れ観光スポットが多く紹介され、戦国のロマンにふれた気がしました。また城が戦を想定して作られていることを改めて認識した次第です。一例をあげると、狭間から見える範囲が限られていること。これは兵士が的を絞りやすいように工夫されたもの。「はの門」の坂は、天守、石垣、狭間、

坂道など城の趣が凝縮されていることより、暴れん坊將軍のロケ地になったこと。日本初の世界遺産（文化遺産）に登録された。池田輝政と本多忠政が現在の城郭にした中心人物であること。明治になり各地で城の取り壊しが行われたが、陸軍の駐屯地になり幸運にも取り壊しを免れたこと。今でも毎年のようにあちこちで修理が行われているが、漆喰など今の建築で使わなくなったものを、安定的に分散して調達するためであること。瓦の葺き替え8万枚のうちおよそ80%は使用可能のため再利用された。など、ガイドさんのユーモア交えた解説でみんなを楽しませていただき、新しい発見でした。

昼食は姫路城のすぐ目の前の「高田の馬場」で名物おでんの食事をとりました。たくさんの土産を買った方もおられ、楽しいひと時を過ごしました。今回参加して、外見と中身の違いなど、姫路城は奥深い城であることをあらためて感じました。隠れ観光スポット、また歴史を感じさせる戦国ロマンの旅でした。

幹事さんをはじめ皆さまお疲れ様でした。

（三橋 泰夫 記）



特別寄稿文

川越さんを偲んで

酒井 俊英

2014年11月19日（水）午前中に、山本広太郎さんからの電話で、川越さんが、亡くなられた事をお聞きし、余の突然で「えっ！」と言ったきり、絶句してしまいました。川越 前代表幹事は、本会報誌、第35号に寄稿されていますように、平成16年、初代代表幹事の樋口さんから、引継いで以来「第2代の代表幹事として、平成25年の9年間もの間、OB会の先頭に立って活動して来られました。この間、山遊会、グランドゴルフ、写真、テニスの4つのクラブのスタートや、堀場OBベンチャー&ボランティア部会の設立、堀場製作所OB会ホームページスタート等、今の活動の殆どを立ち上げてこられました。私が引継いだ平成25年・第18期には、頼り無い新幹事を、バックアップするべくアドバイザーとして1年サポートして頂きました。この平成26年・第19期から漸く、OB会の事を心配しなくても良くなって、「随分楽になった」と言われた言葉をお聞きしながらも、まだまだ、細かい事では、お聞きしなければと思ってい



たところでした。思えば、いろいろ引継ぎで、ご指導頂いた事を思い出します。大山崎町にすんでおられて、私の家に近い長岡天神の駅前の喫茶店に、わざわざ御出でいただき、コーヒーを飲みながら教えていただいた事を思い出します。ありがとうございました。

川越前幹事の築かれた、OB会の実績を維持・発展させることをお誓いし、御冥福をお祈り申し上げます。

さようなら 川越さん

吉井 忠彦

「やっぱりPPKがいいよね」と昼食を共にしながらあなたと語り合ったのが11月13日。それから1週間も経たぬうちに実践してしまうなんてどうしても信じられませんでしたよ。会社ではあなたが勤労部長、健保組合常務理事だった前後5年間、一緒に仕事をしましたが、付き合いが濃密になったのはお互いリタイアしてからでしたね。あなたはOB会会長や諸種のボランティア活動等を通して立派に社会貢献をされる一方、趣味のカメラにも精を出されました。腕前は私より数段上なのに意気投合して気軽にマイカーで撮影場所に案内していただきましたね。夕陽の木津川流れ橋、嵐山花

灯路、祇園祭山鉾巡行、紅葉の横蔵寺・鶏足寺をはじめいくつもの思い出のシーンが脳裏に浮かんで消え、消えては浮かびます。私が属している大阪の写真倶楽部の作品展に、この10年余の間に出した数十点の写真のうち、好評を博したのはあなたにアドバイス、アシストしてもらったものばかりでしたよ。今後は、東山山麓のお墓に半年に一度お参りし、私のその後の撮影活動を報告することとします。本当にありがとうございました。さようなら川越さん、どうか安らかに眠りください。

Until we meet again.

故・川越さんを偲ぶ

梶並 強平

故川越さんは、OB会発展の為に数々の功績を残されましたが、同時に私はOB会で故川越さんには、大変なお世話になった。しかしそれ以上に、個人的に、営業本部在席中にも、故川越さんには、色々とお世話に成った。私が定年退職直後の、今から20年前の頃のこと。当時、パソコンによるσ値（統計偏差値）等の計算操作方法が分らず、困っていた時、故川越さんはPCの操作方法が

大変に詳しくだったので、その計算手法を教えて頂いた。あれから20年たった今でも、会社の取引先に提出する製品品質報告書の中で、このσ値の計算手法が大変役に立っており、このお蔭でその後から現在に至るまで、大口注文が継続できている。・・・感謝・感謝・感謝

心からご冥福をお祈りしています。合 掌

あまりにも突然の訃報に今も信じられません。秋のOB会レジャーで、姫路城へご一緒させていただき、食事を一緒にして楽しいひと時から、1週間もたたない出来事でした。

私と川越さんとの出会いは、入社時の上司であり、新人の私に仕事と、ビジネスマンの心得など沢山の指導をいただきました。特に川越さんは、外国語を専攻されていたにも関わらず、技術的な面での知識も豊富で、趣味もカメラ、自動車運転と広範囲でそれぞれをきめ細かく教えていただきました。そして、私に、結婚相手を探してくださいなど、会社の上司ではなくてお兄さんのような存在でした。最近では、私が定年をむかえると、OB会入会を勧めていただき、入会后、OB会での活動の場を与えていただきました。何事にも、積極的に取り組んでこられ、イベントの企画運営力は、真似ができない素晴らしいものでした。その川越さんの思い出は、仕事の上司の姿以外に、労働組合大会で議長をされていたり、健康保険組合での新春ボウリング大会で参加者全員の写真をそ



の場で配布したり、堀場製作所音楽クラブでは、クラブ員の自慢のオーディオセットを見せていただくのにお宅に訪問したり、OB会の代表幹事を遂行されていたり、その姿の思い出は限りなくあります。その後ろ姿から、教えていただいたいろいろなことを、今後、OB会活動に生かしていきたいと思っています。いまでも、どこからか、私を見ていただいている気持ちであります。

会員寄稿文

オーロラ紀行

村瀬 潤

嫁さんが、「一生に一度で良いから、オーロラを見たい」と言い出し、2014年12月にアラスカのフェアバンクスまで行き、ようやく見ることができました。実は、2013年にフィンランドまで行ったのですが、見る事ができなかったのです。見えるまでの顛末を、これから見てみたい人の参考に、筆を取りました。フェアバンクスに着いた日の夜、郊外のスキー場のロッジまで行きました。送迎バスを降りて夜空を見上げると、うっすらと緑色のやや幅の広い筋が一本見えます。

「アツ出てる!」と、思わず声が出ました。2時間ほど居る間に、北の空を中心に、出では消え、消えては出てくれました。この日は輝度もそれほど強くなく、動きもゆっくりしたものでした。2日目、3日目になるに従って明るさも強くなり、動きもダイナミックに秒単位で動くようになりました。しかし、初日は雲が無かったのですが、だんだん雲が増え、3日目は雲で星が見えなくなる時間が増え、オーロラが出ても見えない時間が増えましたが、幸いに

も雲が切れ、天頂部から北の空にまで強いオーロラが出現。天頂部にも出るようになったときは、出るのが珍しいという渦巻の形まで出てくれました。後で聞いた話ですが、日本を出発した日に太陽黒点の爆発があり、毎日オーロラ出現係数レベルが上がっていったそうです。4日目が一番レベルが高かったようですが、残念ながら雪まで降り出して見れませんでした。しかし、満足して帰国出来ました。2012年から2015年は太陽活動が活発な年で、オーロラを見るには条件が良いようです。1万円のデジカメで撮った写真を見てください。3日目の動くオーロラを撮っているので、夜空一杯に出ているように見えますが、実際はもっとシャープです。10秒程度の露光時間ですが、その間にオーロラが動き回ります。シャッターが下りるまでの10秒間を、こんなに長く感じたことはありません。嫁さんがオーロラを見たいと言い出したのが、2013年の秋です。その年12月にフィンランドに行きましたが、見れませんでした。

2014年12月に、今度はアラスカに行き、ようやく見れた訳です。オーロラは、太陽黒点から出る荷電粒子が地磁気に誘導されて磁北極と磁南極近くのオーロラベルトに降り注いで成層圏の大気を発光させる現象です。地上100km程度の高度で発生しますので、地表近くの対流圏に雲という邪魔物が発生すると見えなくなります。つまり、(オーロラの見れる確率)=(オーロラの発生確率)x(晴天率)となります。フェアバンクスでも、他の観測場所に行ったグループの人と話すと、3日目は雲で見えなかった人がいました。10km以上程度離れると、雲の影響が違ふようです。オーロラを見るには、アラスカやカナダの北アメリカか北欧に行くことになります。北アメリカの方は気温が-40℃になるとの事で、恐れを



なして2013年の12月には-20℃程度というフィンランドに行きましたが、雪雲で見れませんでした。フィンランドは、雪原をトナカイがそりを引いて走るサンタクロースのイメージがあるように、雪が降り晴天率が低いのです。冬の季節風が吹くと暖かいバルト海から雪雲が流れて来るからです。暖かい日本海の湿度が裏日本に雪を降らせるようにフィンランドにも雪を降らせませす。フィンランドは、晴天率が低くてオーロラが見える確率は低かったのです。しかし、フィンランドには、観光の楽しみがありました。北極圏の入り口のロバニエミ郊外にはサンタクロース村があり、サンタさんと話をし記念写真も撮れます。首都のヘルシンキでは、市内観光の後、クリスマス・マーケット巡りや北欧デザインのマリメッコなどでの買い物を楽しめました。今回行ったフェアバンクスには、原油輸送のパイプラインが観光名所に出ているくらいに見所は少なく、昼間は犬ぞり体験とアラスカ大学フェアバンクス校のアラスカ開拓の博物館の見学や、ベントリーモールやウォルマートなどでの買い物をしていました。次に、これからオーロラを見に行こうという人

のために、寒さ対策を紹介します。温度が10度下がると、寒さのレベルが変わります。-10℃を下回ると、深呼吸をすると息が詰まります。添乗員さんは、気道が凍るから深呼吸をしないようにと注意してくれました。鼻毛は直ぐに凍るのが、実感できます。-20℃を下回ると、京都にいる服装では到底耐えられません。フィンランドでは、北極圏内でオーロラベルトの中にあるキツテラの郊外のユツラス村のアカスロンポロ集落に行きました。このときはフィンランドとしても寒くて、昼間でも-25℃でした。湖が氷結しているので、夜に湖の上に行ってオーロラの出現をじっと待ちます。防寒服のレンタルが在れば、利用がお勧めです。私はこのときレンタルが無かったので、以下の重ね着と使い捨てカイロで凌ぎました。下半身は、パンツ+パッチ(ズボン下)+ズボン+裏フリースのオーバーズボン+スキー用のサロペット。上半身は、シャツ+ハイネックシャツ+コールテンシャツ+セーター+スキー用の上着+フード付き中綿ベンチコートです。ダウンコートは、立っているには良いのですが、座ると冷たさが伝わります。中綿入りを、お勧めします。また、更にフルフェイスのフリース目出し帽に野球帽を使用してフードをかぶります。金属製のメガネは接触部が凍傷になると言われてゴーグルを準備しましたが、曇って使えませんでした。しかし、冷え込んで真昼に-25℃になりましたが、金属製のメガネでも何も問題は出ませんでした。ただ、ガラスレンズは温度差で割れるかもしれません。私はプラスチックレンズを愛用です。とにかく寒いというか、痛いというか、冷たいです。手袋は、スキー用の袖まで覆えるタイプを準備しましたが、指が冷たくなります。なべつかみをダイソーで買い込んでいたのが役に立ちました。手袋と2重にすると、寒さを防げます。ただし、カメラの操作ができません。操作は手袋1重でやり、ポケットに使い捨てカイロを忍ばせ、冷えた手を温めます。素手では冷た過ぎて、無理です。足元は、冬用靴下の上にスキー靴下を履き、スノーブーツに使い捨てカイロです。他にも、雪が氷の上に積もっているので、その上に座るための敷物として柔らかい断熱性の発泡スチロールシートと、風除けに手の平に収まる携帯シュラフを準備して役に立ちました。また、使い捨てカイロは、断熱性の袋の内側に貼り付け、この袋を3脚に取り付けたカメラにかぶせて、カメラを冷えないように暖めます。

冷えると電池の能力が落ちて、カメラが使えなくなります。私は乾電池式のカメラだったので、電圧低下のエラーが出る度に電池を交換してしのぎました。交換用電池も、使い捨てカイロで温めておかないと直ぐダメになります。オーロラを撮るカメラの設定は、先ず、ISO感度を最高に設定し、バルクシャッターの設定にします。私のカメラのISO感度は、最高で1600でした。バルクシャッターを10秒前後に設定して、ちょうど良い感じで撮れました。嫁さんのカメラはISO3200でしたが、バルクシャッターを4秒に設定しているのに自動的に1秒程度に短くなり、きれいな明るい写真が撮れませんでした。カメラの受光素子保護のための機能



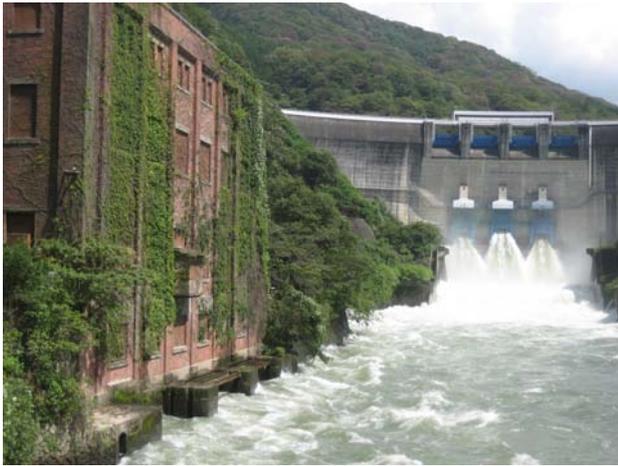
が働くようです。オーロラの写真撮る人は、取扱説明書をじっくり読んで設定されると良いでしょう。きれいな写真を撮りたくなると、カメラもそれなりのものが必要になります。私のカメラで何とか撮れていますが、フォーカスは合っていません。もっとも、フォーカスが合ってもオーロラは動くので結果は同じです。アラスカでは、レンタル防寒着を借りました。スキー服上下とベンチコートとスノーブーツとなべつかみをやめて、レンタル防寒着にしました。レンタル防寒着はポケットが大きく、実用性がバリバリにグッドでした。ただ、見かけは宇宙服かと思うくらい良くありません。実は、今回のアラスカは、暖冬でした。空港に着いて建物の外に出ると、大した寒さではありません。

2度と表示が出ていました。アラスカは華氏なので、 -17°C 程度です。温度の換算は、摂氏と華氏の両方のメモリが付いた温度計付きのキーホルダーを買いました。便利です。オーロラの写真撮影でも、素手で操作しましたが、問題無でした。理由は2つあります。1つは暖冬で、気温が -20°C 程度でした。もう1つは、フィンランドと違ってフェアバンクス of 明かりを避けるため、街から離れた専用のロッジに行きます。ここでは暖かい建物の中で待機できます。オーロラが出れば、建物の外に出て、建物の近くで観察も撮影もできるので、冷える前に済ませられます。ただ、建物に出入りする度にメガネが曇り、カメラの結露にも注意が必要でした。ことからアラスカでは、ひとつ驚いたことがあります。

犬ぞりを楽しんでフェアバンクスに戻ってきたとき、車の中から250 km離れたマッキンレー山が見えました。ガイドさんが、「今日はマッキンレー山が見えますよ」の声に写真も撮りました。見たときは、10 km位離れているのかと思っていましたが、地図を見てびっくりです。夕方で、太陽を背にしたシルエットになっていたことと、アラスカの大気が澄んでいるから見えるのでしょう。読者の皆さんも、北欧ではノーザンライツ (Northern Lights) と言い、アラスカではオーロラ (Aurora) という光を、現地に行って楽しんでください。



一「おとぎ電車は天ヶ瀬ダム湖に沈んでいた」一
 昨年（2014年）の夏、37年間の東京生活を終え京都に戻って来ました。東京から故郷を眺めると客観的に見え、さらに知ってるつもりが勘違いで、事実を知るとほかの疑問まで解決し、頭がすっきりするものである。今回は、生まれ故郷の宇治の謎を取り上げました。



宇治には世界遺産の平等院鳳凰堂と宇治上神社があり、宇治川には春は桜、夏は鵜飼、秋は紅葉があり、嵐山に似た観光地である。今は宅地に変貌しているが、昔は至る所に茶畑があり、銘茶：宇治茶の産地でもあった。昔、祖母から「宇治川におとぎ電車（トロッコ電車）が走っていた」と聞き、探してみたが、それらしい跡もなく、長年の謎であった。そこで調べてみると、なんと宇治川天ヶ瀬ダム上流右岸を走っていたのである。

大正時代、電力確保のため、宇治川上流の大峯にダムを建設。ダム湖から水路トンネルを掘り、下流の天ヶ瀬に水力発電所（志津川発電所）を建設した。戦後になって、その建設資材運搬用鉄道の設備を利用し、溪谷観光と住民の足として、1950（昭和25）年から1960年の10年間おとぎ電車が運行されていたのである。開業時の運賃は大峯の堰堤（エンテイダム）／天ヶ瀬間3.6kmで大人40円、子供20円。大卒初任給が五千円代の頃なので、結構お高い乗り物であった。観光コースは大津石山寺から外畑まで川沿いにバス、外畑から大峯堰堤までダム湖を遊覧船、堰堤から天ヶ瀬までおとぎ電車の後、宇治橋上流の中州：塔の島までプロペラ船の

コースと逆のコースであった。では1960（昭和35）年に、なぜ廃線になったのか。それは1953（昭和28）年9月に起きた13号台風の豪雨による宇治川堤防決壊の大災害に起因する。この豪雨で淀川水系の宇治川、桂川、木津川流域の数箇所堤防が決壊し、京都府だけでも死者・行方不明者119名、被害家屋65,109戸の大災害であった。宇治川は観月橋近くの奈良電鉄（現：近鉄京都線）淀川橋梁から約1.7km下流の左岸堤防で決壊、南一帯の田畑が水没。干拓前の小椋池に戻ったのだ。子供の頃、台風の翌日遠くの水没した田畑が、太陽の反射でキラキラ輝いていたのを今でも記憶に残っている。なんと28.8k㎡の田畑・集落が25日間も浸水したのである。この大災害で淀川水系の改修計画が策定され、洪水調節もできる多目的ダムが建設されることになった。それが1964（昭和39）年11月完成した天ヶ瀬ダムである。高さ73m有効貯水容量20,000,000㎡のアーチ式コンクリートダムで、既にあった1920（大正9）年完成の大峯ダムは高さが31.2mもあったが、発電用ダムのため、洪水調節機能はそれ程無かったのである。この天ヶ瀬ダム完成に先立ち1960（昭和35）年におとぎ電車は廃止、線路設備も撤去、大峯ダムは爆破撤去され、跡地はおとぎ電車の路肩と共にダム湖に沈んだのである。帰郷時、実家から宇治橋を渡り、宇治川右岸の川東（カビガシ）から天ヶ瀬の志津川発電所手前の小橋を渡り、左岸から平等院を經由して実家に戻る往復10kmの朝散歩で、何度か探してみたが、施設跡が見当たらないのも当然である。

昭和30年代後半までは、レジャーと言えば弁当持参で、山、川、公園、遊園地での花見、紅葉見物、舟遊びが盛んであった。いや、それしか無い時代であった。宇治川溪谷には屏風岩のほかに奇岩、怪石があって、風光明媚な所で、京阪電鉄が宇治川観光に取り組んでいたようだ。ところが、天ヶ瀬ダムの建設で、おとぎ電車は一度も乗らぬ間にダム湖に沈んでしまっていたのである。故郷の事は知ってるつもりが、意外と知らぬものである。

昔、私が子供の頃、家の中では、祖父や父は大変な存在感があった様に思うが、最近ではすっかり嫁さんの手に移ってしまっている様である。それは、便利な道具(洗濯機、掃除機、料理器具等々)で、家事が大変便利に出来る様になり、その浮いた時間で女性があらゆる面で社会進出が出来る様になって来て、女性の地位も上がって来たと思われる。昔は、父親は必ず上座に座ったものだったが、今では先ず子供が上座に座り、父親は空いている所に座らされている。風呂は、どんな事があっても一家の主人が一番風呂であったが、今では子供がさっさと入り、次に嫁さんが入り、一番最後に父親と言った家庭も多いのではないかと思われる。又結婚以来、経済の管理はすべて嫁さんの管理下(お金の管理の他、全ての行事)に置かれてしまって、家の中では、父親は居候の様な状態になっており、粗大ゴミとか濡れ落ち葉とか言われる有り様である。デパート等に買い物に行った際、嫁さんに財布を握られているので、一寸気に入ったステキな物があっても、値段が安い物の方に決められてしまうとか、子供たちの小遣いも嫁さんの財布からなので、父親の存在感は全くと言っていいほど、無いのに等しいのが実情である。家の経済は守りに強い嫁さんに任すべきだが、この様な事では、少なくとも男が別に経済力を持つ事も大切であると思っている。そこで、家長としての権威を取り戻す方法として、先ず“へそくり”を持つ事をお勧めしたい。ここで“へそくり”は、生活費とか、貯金や小遣いと言ったものではなく、自分だけで何にでも自由に使用出来る金(隠し金)で、何かあった時はさりげなく、さっと使える、少しまとまった金の事である。つまり全く宛てにしない遊ばしている自由なお金の事である。ここで話が少しわき道にそれるが、そもそも“へそくり”と言う言葉は、どう言う語源から来ているのか、数年前まで分らなく、嫁さんのお腹の臍を眺めても、お金も何も出てこなかったが、“へそくり”とは、綜麻繰り金(へそくりがね)の略で、大昔衣類を作る為に綜麻(へそ)つまり麻の植物の皮の繊維を細く糸状にして、紡いだ(繰り糸)麻糸を環状に幾重にも巻きつけた糸巻きを作り、織り機にかけて、反物を作るのだが、この麻の皮の繊維を糸状にする時、作業中にわずかだが麻糸の糸くずが発生する、この糸くずを集め糸状にまとめて、糸巻きに巻きつけ、綜麻繰り(へそくり)をした。この僅かな綜麻(へそ)を紡いで貯めたお金の事を”綜麻繰り金(へそ繰り金)”と言うようになったのだが、“へそくり”と言

うと、昔は女がやる事で、この様なみみっちい事は男はやらなかったのである。しかし今では力関係が逆転してしまっている以上、男がやらざるを得ない事になる。家長として“へそくり”を持つ事により、自信に満ちた生き方が出来るはずである。ふところが暖かくなると、不思議と自信も湧いてきて何事にも強気になれる。“へそくり”があると、嫁さんとか子供とか孫等の誕生日等に、感謝をこめて、ポイント何かをしてやると、さすがはお父さんだとか、お爺さんだと思われて、家長に対する態度も変わって来るはずである。この“へそくり”はどれくらい持っていればよいかと言うと、一該には言えないが、1歳当たり1万円以上、つまり50歳なら50万円、60歳なら60万円、80歳なら80万円以上を保持し、常に補充しておく必要がある。そこでこの“へそくり”をどう確保するかであるが、この様な“へそくり”を貯めるには、退職前に実行し、準備をして置くべきだったが、今この“へそくり”が無い場合は、これからこの先どのような方法で、貯めていくのか、我々年金暮らしの者にとっては、至難のわざであるが、先ず嫁さんが機嫌がよい時に、お小遣いの増額を折衝をする。これがダメなら、退職をして、大分経過しているが、今からでも遅くはない。長年働いて来た貴重な数々の経験を生かし、あまり欲を言わず、その気になりさえすれば、“へそくり”程度の収入なら働き口を見つけることは、出来るはずである。しかし、いくら“へそくり”が欲しいからと言っても、ネットやスマホを使用してFXで僅かな資金で一日数千円も稼ぐ方法もあるがこれは危険なので、あまりお勧めできない。この様な“へそくり”を貯める事は、一面悪い事でもないので、最初から否定しないで、一度だまされたと思って、実行してみてもどうでしょうか。家長の”へそくり”による心くばりで、素晴らしい効果が現われ、より幸せな家庭が築ける筈です。

“へそくり”を貯めるには出費を抑える事とそれなりの努力も必要である。

- ・今本当に必要な物しか買わない……今直ぐ必要な物しか買わない。
- ・衝動買いはしない……半額だからと言って安いからと言って買わない。
- ・気分で買わない……見栄やちょっと気に入ったとか、と言うことで買わない。
- ・まとめ買いはしない……何時かは使うだろうと思いきや置きをする買い物はしない。
- ・高額商品はすぐ買わない……2,3度店を

訪問をして、それでも気が変わらなければ買う。それがすでに売れてなくなっていたら、あっさり諦める。

寝る前に今日一日の領収書をチェックして、無駄な買い物が無かったか検証を行い、今後の買い物の反省に役立たせる。

お金は生きて行く上で大変必要なものであり、人

は誰もお金持ちになりたいと思っているが、このお金はある時は人を惑わす魔物にもなるが、この“へそくりは金”は人を幸せにする為のお金でなければならない。お金は無いよりあった方が良いが、多いほど良いと言うものではなく、その使い次第で、お金の価値が生きてくる。

ドイツ在住中の国外旅行

野口 進治

私たちのドイツ暮らしの中で毎年2回のグループ旅行の機会がありました。

欧州在住の日本人ホリバリアンとの交流会は毎年6月に行われ、ドイツ、フランス、イギリスその他の地域のホリバリアンが地域ごとに会社毎に毎年交代で幹事を務め、親睦のための2泊3日の旅行を企画します。欧州交流会は現地集合と現地解散で中1日はみんなが揃って、日本語ガイド付きの観光をするのが恒例です。その後夕食を一緒にとり、そのあとの懇親会で、自己紹介をしたり、ゲームの賞品を兼ねて、それぞれの国を記念するようなプレゼント交換会をしたりします。

私たちは6回参加し、イギリス(ロンドン近郊)、フランス(マルセイユ、ロアール)、ベルギー(ブリュッセル他)、オーストリア(ウィーン他)に行きました。いろんなところに連れて行ってもらったのがよい思い出になりました。また集合地まで主に列車移動でいろんな国の特急列車

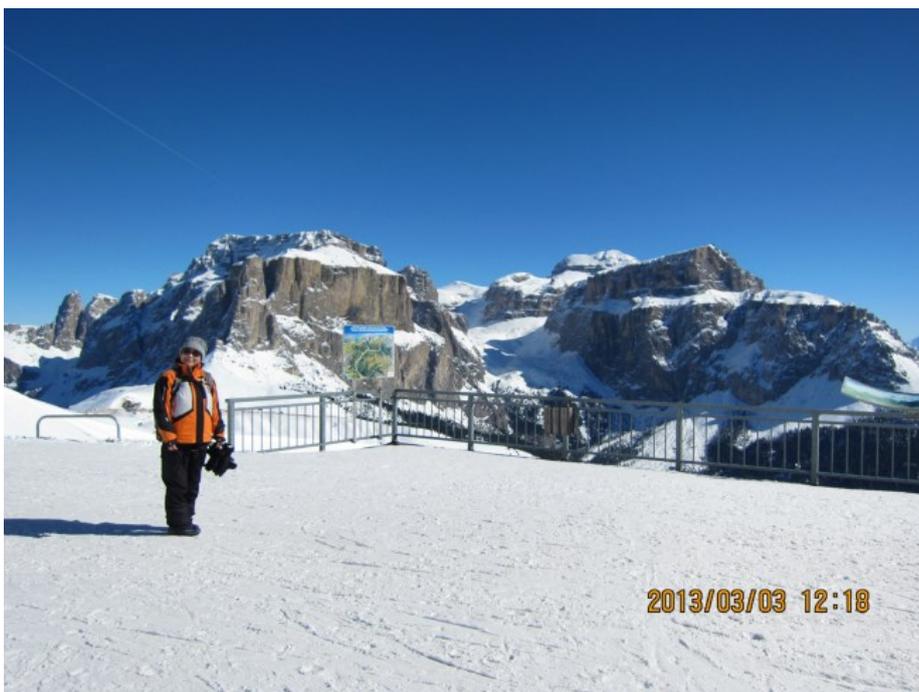
(ICE、TGV、ユーロスターなど)のファーストクラスの旅を楽しみました。飛行機での移動も行いましたが、いろんなハプニングがありました。ロンドンからフランクフルトの帰国便では雷雲が空港上空を覆っていて、着陸できず、ケルンの空港に一時避難し駐機状態で機内に3時間ぐらい缶詰めになりました。この時、機長は「私が責任を持ってフランクフルトまで連れて行きます。どうしてもケルンで降りたい人は、自己責任で、自己費用負担で降りてもらうのは構いません」とアナウンスしました。結局フランクフルトに戻れたのが午前3時になってしまいました。

毎年出向者と家族や研修生合わせて30人以上が参加します。若い人たちが多かった中で、私は出向でなく、定年後に現地採用で働いていましたので、その話を聞いて、そんな形の海外転勤の機会もあるのですねと驚かれました。

3月頃にはHoriba Europe社(HE)や、Horiba Europe Automation Division社(HEAD)の社員が中心でスキーツアーを行います。

写真はドロミテ山塊の一部です。

私たち夫婦も毎年参加し北イタリアの南チロルにあるドロミテ山塊に4回、オーストリアのゼルデンに1回行きました。2011年からはドロミテの同じ宿を借り切るような形でツアーが開かれています。日本人の参加は私たち2人だけで2回でしたが、2012年以降は出向者や研修生の参加が増えています。



ドロミテスーパースキーリゾートは12のエリアからなる広大なスキーリゾートです。スキーコースの総延長は1200kmもあります。宿泊地の近くでは周回すれば100kmぐらいのコースがありました。周回する方向により初心者から上級者までが滑れるとのことでした。

家からドロミテまでは約850kmの距離で、車で11時間前後かかります。私の車は最高で210km/hぐらいまで出せるのですが冬タイヤを装着しているのでタイヤの最高速度の180km/hに抑える必要があります。アウトバーンの空いている区間ではもっと速度を出したいとの誘惑との戦いがありました。

私たちはスキーをするわけではなく、山の景色を楽しむことに専念していました。

カナツアイから大きなゴンドラに乗って海拔2000mの山小屋まで移動し、山小屋のテラスで3000mになったことがありました。それ以来、転地療養のつもりでこのスキーに参加し、リフレッシュし、充電してきました。

車で1時間ぐらい走り、3430mのマルモラーダの

山頂までケーブルカーを乗り継いで移動して周りの山々やアルプスの遠景を眺めたりしました。多くの人たちが同じような楽しみ方をしていました。

山に行くと、気圧の低さと澄んだ空気の中にいることで、リフレッシュでき、風邪をひいて熱を出した直後の旅では、咳も止まり、体調の回復が早く以上の山々の景色を楽しみながらの日光浴をしたりになったことがありました。

ゼルデンでは、スキーを履いていないため、リフトに乗せてもらえず、山頂近くにある氷河から発見されたマンモスの凍結状態のままの展示を見に行くことができず残念であった思い出もあります。

【遠くにアルプスの山並みが写っています】



OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページはクラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

◆ホームページアドレス

<http://www.horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com

会員にお届けしている会報は、モノクロ版ですが、ホームページにはカラー版の会報を掲載していますのでご覧下さい。

－ 新入会員紹介 －

平成25年10月以降入会された会員を紹介します。

- ・ 第18期中の新入会員（敬称略・会員番号順）
1801 永井 博 1802 佐藤 治

1803 鳥島義則 1804 鈴鹿周正
1805 新井 修 1806 露 一夫
1807 長沢克己 1808 河端保芳
1809 北村忠夫 1810 伊藤 哲
1811 福嶋良助

－ 古希になられた方々（敬称略・会員番号順）

小沢 和義、中村 成男、橋口 純男、田中 光子、西田 裕一

－ 年間行事計画について－

第19期の年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク(年間5～6回の予定)
 - ・ 鴨川茶店(4月予定)
 - ・ 鴨川納涼(8月予定)
- 工房学習支援(年間:7～8回の予定)
- 一泊(日帰り)旅行(2月21日～22日)

- 夏の懇親会(8月予定)
- 春の懇親会(4月予定)
- レジャー例会(4月、6月、11月の予定)

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので

参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E.Mail: sakai727@yahoo.co.jp

TEL/FAX: 077-563-2944

－ OB会入会手続きについて－

OB会未加入の方が入会を希望される時は、入会申込書をOB会に提出していただき、入会承認の後、入会費、年会費を納入していただき、正式なOB会員として登録される手順です。

従来、入会手続きは、入会希望者の声を聞いたOB会員が、代表幹事にその旨を伝え、入会申込書等を入会希望者に手渡し(郵送)していましたが、OB会ホームページより「入会申込書」をダウンロード出来るようになりました。

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。

堀場OBホームページトップページの「OB会入会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英
(sakai727@yahoo.co.jp)

副代表幹事 船越 健
(funakoshi@ksvu.or.jp)
幹事 森山 晶成、中村 正博、中村 十規人
(moriyama0983@outlook.jp)
(masahiro.nakamura@kyoto-neutronics.co.jp)
(n4f5zpjv@zd.ztv.ne.jp)
東京支部幹事 谷口 義晴
(tanigucti.y.k@hb.tp1.jp)
会計幹事 笠川 重美
(shigemi.kasagawa@horiba.com)
会計監査 湯浅 一郎
(yuasayusa@yahoo.co.jp)

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内
(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内
(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願い致します。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。
テーマは特に決めていません。

＜旅行の感想＞、＜地域での活動＞、＜地域の社寺仏閣の紹介＞、＜地域の祭り＞など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」(1,000円分)を進呈させていただきます。
会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願い致します。

◆著作権について

・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)
・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲
メールアドレス horiba.ob@gmail.com
〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2
堀場製作所OB会 会報事務局宛

－ 訃 報 －

平成26年11月19日前代表幹事川越 幹さんがご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

— ホさんの新刊発行 —

「おもしろおかしく～人間本位の経営～」

出版社：日経BP社 定価：1,620円

2014年11月18日 発刊

月刊誌「日経トップリーダー」でのホさん連載記事を書籍化した「おもしろおかしく～人間本位の経営～」が発行されました。

ホさんの経営論を、90歳の節目にまとめられたものです。「おもしろおかしく」の経営論を基軸に、具体的な方法が紹介されています。



— 林 勇気さんが、平成26年京都市スポーツ大賞を受賞 —

法務部の林 勇気さんが、平成26年京都市スポーツ賞「京都市スポーツ大賞」を受賞され、12月22日に表彰式が行われました。

本賞は、平成25年11月1日～平成26年10月31日の対象期間中に国内外の著名な大会で優秀な成績を収めた方に贈られる賞です。スポーツに対する市民の関心を高め、競技力の向上及び市民スポーツの

振興等に顕著な業績のあった方々に対し、その榮譽を称えて表彰されます。

京都市スポーツ賞には「京都市スポーツ榮譽賞」「京都市スポーツ特別賞」「京都市スポーツ大賞（個人／団体）」があり、林さんは京都市スポーツ大賞 個人代表として登壇され、門川 大作京都市長より表彰状が授与されました。

編集後記

堀場無線研究所が創業されて、今年70周年を迎えます。「OB会が元気なところは会社も元気である」と言われた堀場最高顧問の言葉を胸にこれからも諸先輩の活躍ぶりを紹介していきます。今回の会報も、2014年年次総会、ボランティア活動、クラブ活動と盛りだくさんです。特別寄稿として「前代表幹事を偲んで」を掲載しています。謹んでお悔やみ申し上げます。

世間ではフランス経済学者ピケティの「21世紀の資本」が話題になったり、ダイバシティ(多様性)が取り上げられる中、今後のOB会の活動も注目されています。

ろう梅、沈丁花、木蓮と花の薫とともに春の便りが届いています。ご健康には十分に留意され日々お過ごしください。ご感想をお寄せ下さい。

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://www.horiba-ob.com> *
